



☆ 虻川吉美氏
(榎崎・77歳)



昭和二十八年に真中村農協理事に就任。以来、大館市農協合併を促進し、自らも理事、代表監事などとして農業経営の安定と振興に熱意を傾注。また昭和四十三年には真中土地改良区を設立し、ほ場整備等を積極的に

図るなど、市農業の振興に尽くされました。

納税功勞

☆ 石田多治右衛門氏
(下野野・64歳)



昭和三十三年に下野野第三納税貯蓄組合を設立以来、現在に至るまで同組合長を務め、昭和四十八年から平成元年までの十七年間、一〇〇パーセントの収納率を達成するなど、納税思想と貯蓄意識の高揚普及に尽くされました。

統計功勞

☆ 鈴木覚氏
(軽井沢・64歳)

昭和二十三年から統計調査員として、農林業センサス、国勢調査、事業所統計調査、商業統計調査、全国消費実態調査等、

各種統計調査に積極的に携わるほか、大館市統計協議会役員を務めるなど、統計思想の普及向上と市統計業務の推進に尽くされました。

一般功勞

☆ 成田正雄氏
(長走・66歳)



昭和四十一年に大館市交通指導隊員に就任。以来、同指導隊副隊長、大館地区交通安全協会矢立支部副支部長を務め、交通安全対策、交通事故防止対策を積極的に推進し、交通事故のない明るい地域づくりと交通安全思想の啓蒙普及に尽くされました。

☆ 新井康夫氏
(赤館町・64歳)



昭和六十一年、平成二年の二回にわたり各一千万円、計二千万円を市に寄付。その浄財は長根山運動公園、大館駅前広場の整備、さらには福祉施設整備資金として活用されるなど、市民の福祉増進と潤いのあるまちづくりに尽くされました。

☆ 菅原保氏
(相染沢中岱・75歳)



大館市老人クラブ連合会の結成に参画。老人文化祭の創設、ゲートボールの普及等、長年にわたり同連合会会長として、高齢者

の健康増進と学習意識の向上に尽力。また大館市芸術文化連盟の法人化を図るなど、地域文化の向上にも尽くされました。

☆ 伊藤一男氏
(高村・63歳)



昭和二十四年から市消防団活動に携わり、昭和三十一年の大町大火、昭和四十三年の御成町二丁目大火の消火活動に活躍。市民の生命と財産を守るため、副団長として団員の指揮統率に精励し、災害防止と防火思想の啓蒙普及に尽くされました。

☆ 神山老人クラブ

(会長 浅利兵造氏・花岡)

市の資源ごみ回収運動発足時の昭和五十六年度から現在に至るまで、総重量七万五、三三一キログラムにも及ぶ資源ごみ回収を実施。市からの奨励金は、町内の公益事業等に寄付するなど、ごみの減量化と再生利用思想の普及に尽くされました。